



学校だより

(4月号) 令和5年4月10日発行

<http://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/>

【学校の教育目標】

- ◎ 夢(ゆめ)にむかって ともに学びあう学校
 - ・すすんで勉強する子
 - ・自分からあいさつのできる子
 - ・仲よくたすけあう子
 - ・じょうぶな子
- 《今月の生活目標》 「学校のきまり」を守ろう

雨上がりのような心地よさを感じて

校長 白石 徳一郎

ご入学、ご進級、おめでとうございます。子どもたちは新しい学年、クラスになり、気持ちも新たに新学期をスタートしたことと思います。私も子どもの頃、新しい教科書をめくり、期待に胸を膨らませたことを思い出します。また、学校生活では、勉強だけでなく、友達と遊んだり、仲良く過ごしたりすることも大切です。クラス替えをすると、仲良しの友達と別のクラスになることもありますが、やがて、新しい友達ができ、子どもたちはたくましく成長していくことでしょう。しかし、環境が変わると少し疲れることがあるかと思えます。保護者の皆様も4月はお忙しいことと存じますが、ぜひ、ご家庭ではお子様の話を聞いたり、お子様とゆっくりと過ごす時間を大切にしたりしていただけたら幸いです。子どもが心身ともに健康に過ごすためには、十分な睡眠と休息、「よかったね」「大丈夫。心配ないよ。」などの安心する言葉かけ、そして、よい人間関係が必要です。早寝早起きといった生活リズムを大切にして、思いやりや優しさを忘れず、目標に向かって、がんばってほしいと思います。

本校の学校教育目標等は以下の通りです。

<学校教育目標>	夢(ゆめ)にむかって ともに学びあう学校
<めざす学校像>	学校・家庭・地域が信頼の絆で結ばれた、ぬくもりのある学校
<ユネスコスクール>	人や自然を大切にし、よい行いに進んで取り組む児童の育成 ～人にやさしく、自然にやさしく～
<コミュニティ・スクール>	地域や保護者とともに、地域のつながりを大切にし、地元を愛する子どもを育てる

令和5年度は、学校でも4月1日からマスクを外して生活できるようになりました。花粉症等の理由でマスクを着用する児童や教職員がおりますので、マスクを外すことを強要することはありませんが、「学校の新しい生活様式」が改定され、少しずつ安堵感や解放感を感じるようになりました。今後も感染防止対策として、換気や手洗い、アルコール消毒を継続しますが、歌を歌う場合や、家庭科で喫食する場合等に概ね1mの間隔を取るなどの留意点はあるものの、ほとんどの制限はなくなり、従来の教育活動ができるようになります。登校時のご家庭での検温は継続していただきますが、体温記録表はなくなります。同居家族に未診断の発熱などの症状がある場合でも、周囲で感染経路の不明な感染者が増加していなければ、登校できるようになります。きっと子どもたちの笑顔も増え、生き生きとした学校生活が戻ってくることでしょう。雨上がりのような心地よさを感じます。

学校ではサクラソウがきれいな花を咲かせています。本校には田島ヶ原サクラソウ自生地にもつ貴重なサクラソウ、園芸店で原種として販売されているピンクのサクラソウ、「田島ヶ原のサクラソウを守る会」の方からいただいた園芸種のサクラソウがあり、正門を入ると、たくさんのサクラソウに迎えられて、この春は学校が一段と明るく感じます。田島ヶ原サクラソウ自生地でもサクラソウがたくさん咲いています。田島ヶ原サクラソウ自生地には様々な草花がありますので、一面サクラソウというわけではありませんが、第1次指定地の南側や第2次指定地の南側にたくさん咲いている場所があります。自生地のサクラソウが少ないからこそ、その貴重さも実感でき、たくさん咲いている場所を見つけると嬉しく感じます。今が見頃ですので、ぜひ、足をお運びいただき、子どもたちが

地元の名所に親しみを感じ、地元を愛する心が育まれますように、ご家庭でもお話いただけたらと存じます。



田島ヶ原サクラソウ自生地第1次指定地



田島ヶ原サクラソウ自生地第2次指定地



本校のサクラソウ

昨年度、本校はコミュニティ・スクールとなりましたので、

学校運営協議会を中心として、今まで以上にPTAや地域の皆様との連携・協働に取り組みました。本校の特色であるユネスコスクールの活動も環境教育をはじめ人権教育や福祉教育、「小さな親切」運動等に力を入れました。

今年度も本校の特色や地域の特色を生かし、お子様が心豊かに成長されますよう、職員一同、取り組んでまいります。地域の皆様におかれましては、いつも子どもたちの安心・安全のためにご協力いただき、ありがとうございます。保護者の皆様、地域の皆様、本年度もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。